

お西さん

2000
1-2

二度とない人生だから

坂村真民

二度とない人生だから
一輪の花にも
無限の愛を
そそいでゆこう

一羽の鳥の声にも
無心の耳を
かたむけてゆこう

二度とない人生だから
一匹のおろぎでも
ふみころさないように
ころしてゆこう

どんなにか
よろこぶことだろう

二度とない人生だから
べんでも多く
便りをしよう
返事は必ず
書くことにしよう

二度とない人生だから
まず一番身近かな者たちに
できるだけのことをしよう
貧しいけれど
ころ豊かに接してゆこう

二度とない人生だから
つゆぐさのつゆにも
めぐりあいのふしぎを思い
足をとどめてみつめてゆこう

二度とない人生だから
のほる日しずむ日
まるい月かけてゆく月
四季それぞれ
星々の光にふれて
わがころを
あらいきよめてゆこう

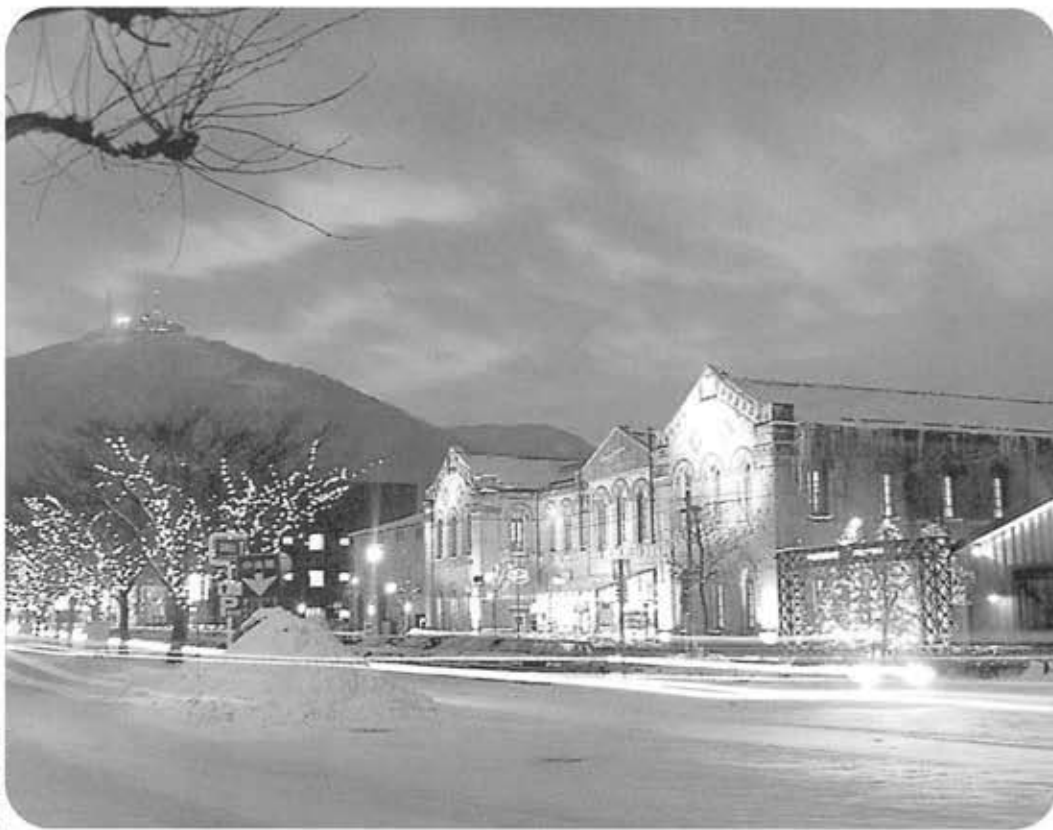
(自選坂村真民詩集より)

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

お知らせ

1月1日(土)~1月10日(月)は正月参りのため月参りをお休みさせていただきます。



お西さん職員

百人一首

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします



神田憲量
ビール缶
ならべて喜ぶ
この春に
誓って
のむぞ
記念二千缶



石神正之
鹿児島に生れ育つて
京学び
今函館の
雪に
親しむ



鷺山諦住輪番
一年を過ぎてようやく
道になれ
出湯
求めて
今日もさすらう



野田潤爾
日の本に遠き近きは
なかりけり
富山
京都
函館の
道のり



野川大卓
吾子思う
故郷の
便りや
待ち遠し
京の大宮
さぞや 淋しき

吉村教史
寒風が吹いて、ぬけゆく
新玉にあらためて
思う
人の
世の
厳しさ



山岸智史
函館に住まいし時も
早六年
吾待つ
家族に
春近しと書く



山崎三和
花一輪
その年毎に
返りみる
色あせぬかと
心乱るる



石黒堅司
淋しさに
本町
あたりに
足のばし
いつまで続くか
独身の冬



高倉健司
わが住家函館山の
裏にあり
台町
支所に
新妻の香り



府采野美代
いにしえの幼木も
今は
老木に
今日の
いのちに
みがく若声



小池晴美
乙女路に
星降る夜も
幾度か
満月近づく
夢多き年



味方玲子
茶わんから茶わんに
写る毎日に
もう
無茶苦茶や
許して
茶もれ



岡本竹俊
馬をみて、その勇姿に
ふるい起つ
馬車馬の
ごとく
今日も燃えつつ





「職人氣質」

宇賀浦町にお住まいの曾川さんのお宅へお伺いさせて頂いた時、お参りのあと、お父さんとお母さんと一緒に、お茶をいただいているいろいろな話しをさせて頂きました。

曾川さんのお父さんは、職人氣質の方でじつとしているのが嫌で、いつも一生懸命お仕事をされています。ご自身がこうだと思おうとまっすぐに進んでいく、すこしガンコな所もあるんですよと、笑いながら話して下さいました。

けれど、そのお父さんが、三人でお茶をいただいているとき、よくお母さんに「ありがとくなー」と云われて、お母さんも少し恥ずかしそうな顔をして話して下さいます。世の中にはいろいろなことがあります。ご夫婦二人「相ささえ相ささえられつつ」という言葉そのもののような、お二人のお姿を見せていただき、こちらまで心温まる気持ちにさせて頂きました。これからお二人仲良くお元気で新しい年をお迎え下さい。

(神田)

「継続は力なり」

新しい年に向けて、みなさんは「今年はいろんな事にチャレンジしよう！」と胸の内に抱負をもつておられるでしょう。しかし、僕も含めて抱負だけはたくさんあるのに、いざ実行に移しても、なかなか長くは続きません。いわゆる「三日坊主」になつてしまうことが恥ずかしながら多くあります。小学生・中学生の頃は、「今年の抱負」といった作文を書いたりしましたが、その当時は、これからスタートする新しい二年間に胸がドキドキしたものでした。

さて、旭町にお住まいの鍋谷さんのお宅へお参りに伺い、いろいろお話をしていたら、鍋谷さんは、冬期を除いて毎朝、前の広場で近所の皆さんとラジオ体操をしているそうです。特に鍋谷さんは、ラジオを持参して皆さんの指揮をとっています。「責任感はあるけれど、毎朝皆さんの顔を見て安心し、また一日一日がとても新鮮です。」とおっしゃる鍋谷さん。何事にも中途半端で終わる僕には、本当に頭の下がる事です。

口ベタな僕ですが、門徒さんたちと共に語りあつて喜んだり、悲しんだりといろんな二年間になると思います。そんな毎日を、常に「新しい出会い」と感じながら過ごしてゆきたいと思います。

(野田)

「二歩」

先日、美原四丁目にお住まいの竹井さんのお宅へお参りに伺った時、七回忌のご法要の依頼がありました。話を聞いた時ちょっとショックを受けました。実は私が函館に来た最初の年に二周忌を、翌年に三回忌のお勤めをさせて頂いたのです。そして今年の一月に七回忌を迎えます。

「もう七回忌ですか？早いですね。」と聞きますと「年を取るともつと早くなるよ」と竹井さん。そういえば私は函館に来てもう六年目、考えてみますと、この五年間何も変わっていないような気がします。函館の町には、慣れてきたのです。が…。

新年を迎え、今年は自分自身二歩踏みだし前進したいと思います。

(山岸)

「おかげさまで」

先日、元町の太刀川さんのお宅に、お西さんと御堂さんのお配り物をお願いに持っていきました。私が「いつも班長さんをやっていたら有り難うございます。」と言いますと「うちは班長でも何でもありませんよ」という返事。えっ！と思って聞きますと「昔は別な方が班長さんをやってくれてただけで体調を壊して、その時お寺さんが一件一件配っているのを見て気の毒になって、だから

ほんのちょっと手伝っているだけ」その言葉を聞いて私はすごく、すごく嬉しくなりました。自分なら大変な人を見ても「大変そうだなあ」と思うだけでなかなか実行に移せません。それを「ちよつと手伝っているだけ」と事も無げに言える太刀川さんの優しさに触れることが出来、見習いたい事だと改めて学ばせて頂きました。(高倉)

「くせ」

今回は日吉町二丁目にお住まいの小松さんをご紹介させて頂きます。お参りにうかがいますと、ご主人様がおられる時はご夫婦で、おられない時は奥様が必ず一緒にお勤めをあげて下さいます。最近気がついたのですが一緒に勤めをあげて下さいます奥様のお経を唱えるクセが、だんだん私と似てきたのです。一緒にお勤めしているとまるで私のお勤めを聞いているかの様でとても不思議な気がします。そして私自身のクセもよくわかり何だか恥ずかしい気分です。しかし、またこれからもこのつながりを大切に頂き、御一緒にお勤めをしたいと思えます。(石黒)

「かおりとにおご」

又、新しい年を迎える事が出来ました。今年には西暦二千年。この大きな節目の年に生かされ

ている自分に、不思議な御縁を感じ、又「お陰様」に支えられている毎日に感謝の気持ちでいっぱいです。本年もよろしくお願い致します。

先日、亀田本町の安田さんのお宅にお伺いした時、玄関を開けると、お香のすばらしい香りがしました。毎日のようにお香の香りには触れてはいるのですが、仏さまの前以外の所で改めて嗅ぐと自分自身の中で心が和らいでいくのを感じました。

それとは別に八幡町の岩崎さんのお宅や、高さんのお宅にお伺いしますと薪ストーブの良い匂いが家の中いっぱい広がっています。小学校を卒業するころまで薪ストーブで育ったせいかな、懐かしい匂いです。ストーブが匂いを出すわけがないのですが、どこか温もりのある、心から温められる良い匂いです。普段何気なく嗅いでいる香りや匂いも心が安らぐ事があったり、温もりを感じたりするものなのです。(吉村)

「御縁」

柏木町の松本様のお母様が、昨年十月五日に御家族と別れをおしみつつ還浄されました。

その後、中陰参りをさせていたたくうちに、お仏壇のことなどが彼や是やと気になるようになってきたということです。お仏壇の前に座り込んで、ものの形態や彩色や置き場所など、いわゆる莊嚴

に気持ちに向くようになったということです。

今までは、二つひとつの意味合いも考えずに淡々とお仏飯をお供えしたり蠟燭に明かりを灯したり、お香を焚いたりして済ませていたものが、何かそれでは済まないような気になってきたということでした。

こういう心持ちになってこられたのも、お身内の別れがきっかけとなったことだと存じます。その気持ちをいつまでも大切にされ、毎日を新鮮なものとして過ごすことができれば、この上ないご縁に会われたと言えらると思えます。

私も新年を迎えあらたまった気持ちで、日々を過ごして行きたいと思っています。(野川)

乙女のつばやき《事務員日記》

二〇〇〇年という新しい年を迎えました。私はひねくれ者のせいかな、毎年、新年といっても、いつもと同じ朝を迎えるだけではないか? と思っていましたが一九〇〇年代から二〇〇〇年代へかわった最初の年ですので気を引き締めて行きたいと思えます。



(小池)

Q&Aコーナー

教えてお寺さん！
ご門徒さんのご質問に
お答えします

A

まずは希望の日、場所（御自宅、別院本堂、台町出張所、ホテル等）を早めに
お寺へご連絡下さい。別院の日程、時間等を確認し、ご返事させていただきます。尚、午前中は日
常法務の為、出来るだけ午後をお願いしています。供物は「お餅」「お菓子」「果物」などを
お供えします。法事を別院本堂、台町でされる場合は別院の方でご用意させて頂くことも出来
ます。詳しくはお参りに伺った職員、もしくは別院までお問い合わせ下さい。

Q

今年、おじいちゃんの法事を
したいのですがどのような
心積もりと用意がいらいますか？

く九州は鹿児島島の地よりまいりました。
南国生まれ、南国育ちの私が、ここ北国の
函館で皆様と共にお念仏を喜ばせて頂く事
となり、これもまた不思議なご縁であると、
ありがたく受けとめております。初めて経験
する冬の北海道で、皆様の暖かいお声を励み
にご法義の相続に努めてまいります。
まだまだ至らぬ点も多く、ご無礼もあるか
と思いますが、明るくはつらつとやっつて行きたく
いと思っておりますので、どうぞ皆様宜しく
お願い致します。



「はじめまして」
この度、函館別
院に赴任しました。
石神正之です。遠

この度本堂、御代前に蓮如上人が、余間
に七高僧を御本山より新しくお迎えする
ことが出来ました。今迄、本堂内が暗い上
に煤けて見にくかったですが壁も塗り直
し御姿もお美しく拝せられます。



ようこそようこそ



先日、湯川温泉啄木亭
にて仏教壮年会全道大会が開催されました。
全道各地より二百名余りの会員の皆さん
が集まり、足利先生の法話を聴聞し、函館組
内のお寺さんと別院職員による演劇説法を
見ました。ある会員さんが「壮年会の大会は
皆、アットホームな雰囲気の中で話せるから大
変楽しいですね」とおっしゃってました。別院
でも毎月アットホームな会を開催しておりま
すので、ぜひ一度ご参加下さい。



▼壮年会通信▲

宗祖親鸞聖人 「御正忌法要」

ご家族そろってお参り下さい。

日時 1月14日(金)・15日(土)〈午後1時半より〉
1月16日(日)〈午後1時より〉

十六日会 「新年会」

日時 1月16日(日) 午後2時頃より会食
会場 西別院文化会館 会費 1,000円
※会費は当日いただきます。

お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

- 一月十一日(火) 職員法話
- 十二月(水) 福井教区若狭組
- 十五日(土) 常徳寺住職 今井慶信氏
- 十六日(日) 親鸞大学〔13時30分より〕
- 二月十一日(金) 職員法話
- 十二月(土) 未定
- 十五日(火) 未定
- 十六日(水) 親鸞大学〔14時より〕

土曜の会へ行こう

- 一月二十九日(土)
- 二月二十六日(土)

(午後一時三十分より)
会場 日吉町熊谷宅にて
お問い合わせ ☎(0138)54168509

浄書(写経)の会

- 一月十七日(月)
- 会場 別院内堂
(午前十時より)
※二月以降冬期間はお休みです

お西さん一月／二月行事一覧

- 一月 一日(土) 修正会〔7時より〕
- 十一月(火) 常例布教
- 十三日(木) 常例布教
- 十四日(金) 御正忌法要
- 十六日(日) 常例布教
- 二月十一日(金) 常例布教
- 十六日(水) 常例布教

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
ありがとうございました

ミッキー クラブ

お母さんがお仕事を
持っておられる方、
急に一日用事で出かける方、
安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブ
でおあずかりします。

対象 龍谷幼稚園生並びに
2歳以上の弟妹

担当 古澤 妙子先生
(元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは
龍谷幼稚園 ☎23-0274
ミッキークラブ ☎27-4304

●テレフォン法話順番表●

- 12月26日(日)～12月31日(金)→野田 ●1月30日(日)～2月5日(土)→高倉
- 1月1日(土)～1月8日(土)→輪番 ●2月6日(日)～2月12日(土)→石黒
- 1月9日(日)～1月15日(土)→山岸 ●2月13日(日)～2月19日(土)→石神
- 1月16日(日)～1月22日(土)→吉村 ●2月20日(日)～2月26日(土)→輪番
- 1月23日(日)～1月29日(土)→布教使 ●2月27日(日)～3月4日(土)→布教使

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

 0138 **27局2424番**

お便り大募集

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。



お問い合わせ ☎(0138)2310647

編集後記

▼先日台町の外の水道の水を落としました。外は随分と寒くなつたようですが家の中は新品のストーブを入れたのでポカポカです。そして心もほかほかです。「和順愛語」いい言葉だなとしみじみ噛み締める今日此の頃です。(高倉)



龍谷便り



言語劇「しんらんさま」に挑戦して

11月23日に龍谷幼稚園の生活発表会があり言語劇「しんらんさま」をやりました。発表会の題材としては取り上げずらい「しんらんさま」という言語劇にどうしても一回は挑戦してみたいという思いが我々保育者にはありました。毎回話題としてはのぼるのですが、実行までこぎつけるには到りませんでした。今回、年長さんを受け持った先生のやってみようという強い意気込みが園長先生や他の先生方の子どもたちを動かしました。いつも手を合わせたり「しんらんさま、ありがとう」という言葉は言っても実際「しんらんさま」については話をしても実感として子どもたちに伝わってなかったと思います。今回、自分達が演じてみてより身近な存在として受けとめられたことと思います。

生活発表会の年長さんの定番として残していきたいものです。そしてよりたくさんの人に見ていただきたいと思います。

安西 るみ先生



平成
12年度

園児募集

強く明るくやさしさを
もつ子に育てます!!

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を
伝える宗教教育それが **龍谷幼稚園** です。



願書受付中

お問い合わせは

龍谷幼稚園 ☎23-0274